

学校法人 兵庫医科大学

広報

 兵庫医科大学  兵庫医療大学

vol. **221**
2013年6月号

就任挨拶、第107回医師国家試験結果考察
科学研究費補助金交付内定一覧
日本リウマチ学会賞受賞、名誉教授称号授与
オープンキャンパス・入試情報、ふれあい看護体験
ささやま老人保健施設お花見会
中医薬孔子学院開設記念学術講演会
平成24年度決算

最近の主な **出来事**

01 最近の主な出来事

■兵庫医科大学

- 02 副学長就任挨拶
主任教授就任挨拶
- 03 教授就任
7大学連携先端のがん教育基盤創造プラン
研究者養成部門 第1回国際シンポジウム
- 04 第107回医師国家試験を振り返って
- 05 日本リウマチ学会賞 受賞
- 06 平成25年度科学研究費助成事業交付内定一覧
- 09 平成25年度科学研究費助成事業(奨励研究)交付内定一覧
平成25年度公的資金一覧
財団法人等各種団体による研究助成金等の交付状況
- 10 平成25年度大学院学生研究助成受給者
名誉教授称号授与
学位授与
- 11 広報関連新入生アンケート
- 12 平成26年度 入学試験
平成25年 オープンキャンパス・相談会日程

■兵庫医療大学

- 13 副学長就任挨拶
教授就任挨拶
名誉教授称号授与
- 14 平成24年度国家試験結果について
- 15 平成25年度科学研究費助成事業交付内定一覧
- 16 財団法人等各種団体による研究助成金等の交付状況
学校法人兵庫医科大学連携病院の会 合同病院説明会
第6回欧州研修報告会
- 17 平成26年度 入学試験
平成25年 オープンキャンパス日程

■兵庫医科大学病院

- 18 副院長就任挨拶
生殖医療センター長就任挨拶
病院就職説明会 開催
- 19 運営方針説明会・病院活動費配分
東日本大震災被災地支援 感謝状贈呈
- 20 看護の日ふれあい看護体験
兵庫医大フロンティア医療セミナー

■ささやま医療センター
ささやま老人保健施設

- 21 ささやま老人保健施設 お花見会開催
こどもの日コンサート「うたと日本舞踊の会」開催
看護師宿舎新築工事計画について
- 22 病院機能評価の受審に向けて
篠山キャンパス環境整備

■学校法人兵庫医科大学

- 23 中医薬孔子学院 理事会及び開設記念学術講演会
- 24 規程等の制定・改正・廃止
- 25 平成24年度決算について
- 27 兵庫医科大学開学40周年記念事業募金 状況報告
- 28 学校法人兵庫医科大学基金 状況報告
クールビズの実施について
- 29 報道機関等への出演・掲載
7月~8月の行事予定
- 34 TOPICS リュウゼツランの花の芽が伸び始めました
ご意見お問合せ

4月		April	
1	■学校法人兵庫医科大学	入職式	
3	■兵庫医科大学	大学院入学式	
4	■兵庫医科大学	学部入学式	
5	■兵庫医療大学	学部・大学院 入学式	
6~10	■兵庫医療大学	新入生オリエンテーション	
15	■兵庫医科大学病院	第9回 フロンティア医療セミナー	--P20
24	■兵庫医科大学病院	市民健康講座「高齢者のうつについて」	
25	■兵庫医科大学	大学院 学位授与式	--P1
27	■兵庫医療大学	学校法人兵庫医科大学連携病院の会 合同病院説明会	--P16
29	■ささやま医療センター	篠山キャンパス環境整備	--P22
30	■ささやま医療センター	うたと日本舞踊の会	--P21
中旬	■ささやま医療センター	ささやま老人保健施設 お花見会	--P21

5月		May	
10	■兵庫医療大学	第6回欧州研修報告会	--P16
13	■兵庫医科大学病院	第10回 フロンティア医療セミナー	--P20
14	■兵庫医科大学病院	看護の日 ふれあい看護体験	--P20
15	■兵庫医科大学	コロンビア大学留学成果報告会	--P1
	■兵庫医科大学病院	市民健康講座「ヘリコバクターピロリ感染胃炎と除菌について」	
23	■学校法人兵庫医科大学	中医薬孔子学院 開設記念学術講演会	--P23



4/25 ■兵庫医科大学
大学院学位授与式

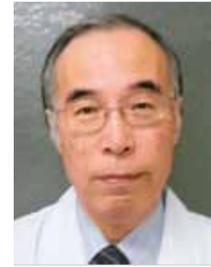
学位を授与した38名を対象に、10号館第3会議室にて大学院学位授与式が執り行われました。中西学長から1人1人へ学位記が授与され、続いて祝辞をいただきました。学位を授与された方々は、さらなる医学の進歩に貢献する決意を新たにしました。



5/15 ■兵庫医科大学
コロンビア大学留学成果報告会

平成25年4月1日~26日にかけて、第6学年次の学生1名がニューヨークにあるコロンビア大学に留学し、5月15日に留学成果報告会が行われました。報告会では、診察の様子や実際に立ち会った心臓移植手術についてなど、現地経験した様々なことについて報告が行われ、参加していた学生たちは熱心に話に聞き入りました。将来留学を希望する学生からの質問に対しては、留学した学生が自らの留学経験を交えながら真剣に答え、双方にとって有意義な報告会となりました。

■副学長(広報・渉外担当)就任挨拶(4月1日就任)



眼科学
三村 治

この度、副学長(広報・渉外担当)を拜命いたしました。私は昭和50年兵庫医科大学眼科に入局して以来、兵庫医科大学大学院1期生としてずっと本学とともに歩んでまいりました。私の今日があるのは歴代の理事長、学長はじめ本学教職員の方々のご

指導のみならず、同窓会、後援会、さらには患者様の皆様のご理解、ご支援の賜と深く感謝致しております。

この間、医療を取り巻く社会環境は激変し、広報も単に広報誌やHPを充実させれば良い時代から広報戦略を練り積極的に本学をアピールする時代になりました。また、渉外活動においても取引先企業がコンプライアンス重視に変わり、それらへの対応が急務となっています。中西学長のもと、これらの対策を充実させるべく微力ではありますが、全力を尽くす所存でありますので、今後とも皆様の温かいご理解、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

■副学長(臨床研究・組織再編担当)就任挨拶(4月1日就任)



内科学 肝・胆・膵科
西口 修平

この度、平成25年4月1日付で副学長(臨床研究・組織再編担当)を仰せつかりました。私は平成17年に大阪市立大学より本学の肝・胆・膵科に着任致しました。まだ本学での経歴は浅いのですが、本学の現状を出身大学と比較しながら見つめることが可能です。非力ではありますが、この立ち位置を生かし本学の更なる飛躍に寄与したいと考えております。

これまでは、肝疾患センター長として臨床各科のご支援を賜りながら、県下唯一の肝疾患拠点病院である本学に対する国や県の要望に応じてきました。また、治験センター長として臨床治験の環境整備にも努めてまいりました。

これらの経験を踏まえた上で、本学の臨床研究全般について、効率的な支援策や活性化プランを中西学長に提案することが第一の使命です。さらに、兵庫医大は多くの講座が百花繚乱と咲き誇っていますが、大講座制の時代に比べれば単科毎のマンパワー不足は拭いようがありません。現在の活力を損なわずさらに将来を見据えた組織再編が必要と思われます。この第二の使命は非常に難題であり、皆様のご意見を伺いながら将来ビジョンを具現化する必要があります。今後とも、ご支援とご指導をお願い申し上げます。

■主任教授就任挨拶(4月1日就任)



歯科口腔外科学
岸本 裕充

この度、歯科口腔外科学講座の第3代主任教授に昇任いたしました。当科では、歯科疾患、外傷・腫瘍などの口腔外科疾患の診断・治療だけではなく、口腔と全身(疾患)との関わりに着目した教育・研究・診療に取り組んでいます。たとえば、「口腔の不衛

生が肺炎の原因になる」、「歯周病が早産・動脈硬化・糖尿病の悪化に関連する」、「睡眠中の胃液の逆流は歯ぎしりの原因の1つ」、などなど、意外な関連があり、口腔が盲点の1つであった可能性が示されつつあるのです。

平成23年にいわゆる「歯科口腔保健法」が施行され、今年からは「歯の衛生週間」から「歯と口の健康週間」となり、やはり歯だけでなく口腔の健康が大切であり、おいしく食べられることの重要性が再認識されたものと言えるでしょう。

今後とも皆様のご指導、ご鞭撻をよろしくお願い申し上げます。

教授就任



医学教育学
成瀬 均
平成25年4月1日就任

略歴

昭和56年 3月 兵庫医科大学 医学部 卒業
5月 兵庫医科大学病院第一内科 臨床研修医
昭和58年 6月 市立芦屋病院内科 医員
昭和63年 5月 兵庫医科大学第一内科学講座 助手
平成6年 1月 米国Yale大学Nuclear Cardiology, reseach associate
平成10年 11月 兵庫医科大学第一内科学講座 講師
平成13年 9月 市立宝塚病院循環器科 部長
平成16年 11月 兵庫医科大学医学教育学 准教授



病原微生物学
奥野 壽臣
平成25年4月1日就任

略歴

昭和53年 3月 兵庫医科大学 医学部 卒業
7月 大阪大学医学部付属病院第4内科 診療研修医
昭和54年 4月 大阪大学大学院医学研究科博士課程(病理系) 入学
昭和58年 3月 大阪大学大学院医学研究科博士課程(病理系) 修了
7月 米国食品医薬品局(FDA、メリーランド州ベセスダ市) visiting fellow
平成1年 11月 大阪大学微生物病研究所麻疹部門 助手
平成5年 4月 大阪大学微生物病研究所麻疹部門 助教授
5月 神戸市環境保健研究所疫学部 主幹
平成10年 7月 兵庫医科大学細菌学講座助教授
平成17年 4月 兵庫医科大学病原微生物学講座 助教授
平成19年 4月 兵庫医科大学病原微生物学講座 准教授



内科学 総合診療科
森本 剛
平成25年4月1日就任

略歴

平成7年 3月 京都大学 医学部 医学科 卒業
5月 京都大学医学部附属病院総合診療部 研修医
11月 市立舞鶴市民病院内科 医員
平成10年 7月 国立京都病院総合内科 レジデント
平成13年 9月 プリガムアンドウィメンズ病院総合診療科 リサーチフェロー
平成14年 6月 ハーバード大学公衆衛生大学院公衆衛生修士課程 修了
平成16年 3月 京都大学大学院医学研究科内科系専攻博士課程 修了
4月 京都大学医学部附属病院総合診療科 助手
平成17年 10月 京都大学大学院医学研究科医学教育推進センター 講師
平成23年 10月 近畿大学医学部救急総合診療センター 教授
平成25年 3月 兵庫医科大学内科学総合診療科 准教授

7大学連携先端がん教育基盤創造プラン 研究者養成部門 第1回国際シンポジウム

阪神地区のがん専門人材養成の基盤整備を目的に兵庫医科大学と近畿大学医学部・薬学部、大阪市立大学医学部、関西医科大学、大阪府立大学看護学部、神戸大学医学部、神戸市看護大学の7大学8学部が文部科学省に共同申請し2012(平成24)年度に採択された「7大学連携先端がん教育基盤創造プラン」の研究者養成部門 第1回国際シンポジウムが平成25年3月15日、16日に大阪市内のホテルにて開催されました。

このシンポジウムは、国内外のがん領域における基礎・臨床研究に従事し幅広く活躍されている同世代の若手研究者13名を招聘し、研究発表を通じて交流するもので、116名の参加があり、成功裏に終了しました。

なお、本学からは、内科学呼吸器・RCU科 前田 理沙助教が講演を、がんセンター 福岡 和也准教授がそのセッションの座長を担当しました。また「7大学連携先端がん教育基盤創造プラン」の部門専任者である内科学呼吸器・RCU科 中野 孝司主任教授ならびに放射線医学 上紺屋 憲彦教授が参加されました。



第107回 医師国家試験を振り返って



副学長(教育担当)
医学教育センター長
鈴木 敬一郎

2月9～11日の3日間、第107回医師国家試験が実施されました。近畿の会場は今回から変更され桃山学院大学でした。発表は3月19日で、結果は全国平均合格率は全体 89.8%(7,696/8,569)、新卒 93.1%(7,205/7,742) 兵庫医科大学の合格率は全体 88.8%(95/107)、新卒 89.6%(95/106)でした。合格ラインは、必修問題は絶対基準80%、一般問題及び臨床実地問題については相対基準(平均-1.5SD)とされており、実に一般が69.5%、臨床実地問題が71.5%でした。

本学は前回の新卒100%と比較し、今回は11名も不合格でした。その原因については今後慎重に検討する必要がありますが、現時点で感じることを述べさせていただきます。まず卒業判定が甘かったのではないかとご指摘があると思います。しかし今回の6年生は非常に良く頑張っており、模試結果も全国的にみても上位でした。問題は12月～2月の勉強にあったように思います。この時期に集中力を欠いた勉強になってしまった場合もあるようです。本学では毎年同じ基準で判定しており、判定時は95%程度ではないかと考えています。ところが実際は103回が100%、104回が約97%、105回が約90%、106回は100%、107回が90%弱でした。同じような卒業基準でも90%であったり100%であったりするわけです。近年本学の合格率は向上しているものの、大変微妙なところで当落が決まっており、少しの勉強不足や学習の方向性の違いが合格率低下に繋がります。国家試験のレベルの高さと指導の難しさを痛感しています。今年度は上記を踏まえて国家試験対策を修正する予定ですが、全体のレベルアップと下位3分の1の方の底上げとは別の方策を取る必要があると感じています。

もう一つ強く感じることは国家試験がいよいよ競争試験になってきたということです。医師国家試験は資格試験のため絶対基準(一定水準以上は全員合格)であるべきですが、第95回より相対基準が導入されました。ある程度得点をとっても全体がレベルアップすれば不合格になってしまうという競争試験で、毎年レベルアップしてきています。そのため国家試験対策が行われるわけですが、昨までは私学が健闘していました。今回は新卒で国公立が94.2%、私立が91.8%とわずかですが差が開きました。また私学の中でも東高西低の傾向があり、関西四私大は中位～下位でした。これは国公立大学も本気で国家試験に取り組み、かつ大学の多い関東地方は競争原理が働いてレベルアップしたと思われます。一方本学では前回100%ということで、わずかながら油断があったのかもしれませんが。今や大学受験同様の受験競争と認識すべきで、気を緩めることなく全力で勉強すべきなのです。

今年度は今回の教訓を生かして取り組みたいと考えています。

最後になりましたが、今回不合格であった方は次回に是非全員合格できるよう頑張ってください。卒業後も要望があれば医学教育センターで出来る限りサポートしますので遠慮なく連絡してください。

第107回 医師国家試験

試験日：平成25年2月9日～11日
発表日：平成25年3月19日

	全国			本学		
	受験者	合格者	合格率	受験者	合格者	合格率
新卒者	7,742名	7,205名	93.1%	106名	95名	89.6%
既卒者	827名	491名	59.4%	1名	0名	0.0%
総数	8,569名	7,696名	89.8%	107名	95名	88.8%

	第106回(昨年)全国			第106回(昨年)本学		
	受験者	合格者	合格率	受験者	合格者	合格率
新卒者	7,590名	7,129名	93.9%	83名	83名	100.0%
既卒者	931名	559名	60.0%	13名	12名	92.3%
総数	8,521名	7,688名	90.2%	96名	95名	99.0%

平成25年度 日本リウマチ学会賞を受賞

リウマチ・膠原病科の佐野 統主任教授が、平成25年度日本リウマチ学会賞を受賞しました。平成25年4月18日第57回日本リウマチ学会第一日開会式直後、国立京都国際会館メインホールにおいて、授与式および学会賞講演が行われました。本年度は学会賞が1名、奨励賞が3名に送られました。

この賞は、本邦におけるリウマチ学に関する臨床的または基礎的研究の振興並びに、リウマチ学の発展に顕著な貢献のあった者を顕彰する目的で始まり、学会賞は職責、年齢を問わず、奨励賞は年齢40歳未満の研究者に与えられます。選考委員会は学会内委員5名(1名は当該年度の学術集会長)と学会外委員2名から構成されます。候補者は過去の業績を1000字以内に要約し、主要論文10編の要約と全業績リストを添えて申請します。毎年2月に選考委員会が開かれ、受賞候補者が内定し、理事会、評議員会を経て最終的に決定します。

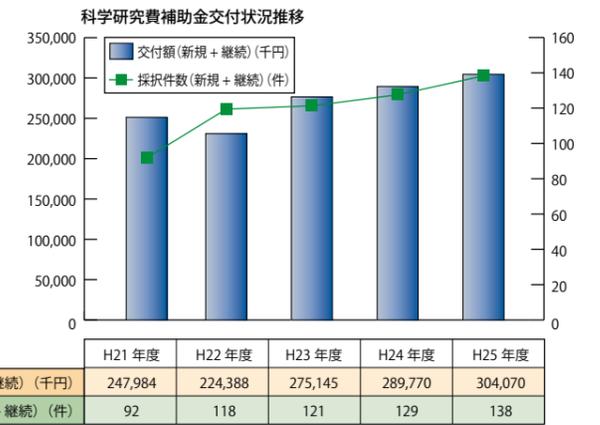
昭和37年に第1回学会賞が九州大学医学部小児科 寺脇 保教授に与えられ、第2回が東大物療内科 清水 保教授、平成24年度は東京女子医大附属膠原病リウマチ痛風センター所長 山中 寿教授と、これまで錚錚たる先生が受賞されています。



平成25年度 科学研究費助成事業交付内定一覧

平成25年度科学研究費助成事業(138件 総額304,070千円(うち直接経費233,900千円、間接経費70,170千円))の交付が下記のとおり内定されました。

なお、昨年度の交付額は129件 総額289,770千円(うち直接経費222,900千円、間接経費66,870千円)でした。



(単位:千円)

所 属	研究代表者	研 究 課 題 名	交付内定額	
			直接経費	間接経費
基盤研究(A)				
学長	中西 憲司	顆粒白血球の寄生虫感染宿主応答に及ぼす影響の解明	7,200	2,160
公衆衛生学	島 正之	出生コホートをを用いた妊娠中の大気汚染が妊娠及び出生児に及ぼす影響の解明	9,000	2,700
基盤研究(B)				
解剖学(神経科学部門)	野口 光一	慢性疼痛発症・維持機構としての脊髄グリア・血管・ニューロン相互連関の分子基盤	6,200	1,860
病原微生物学	筒井 ひろ子	インターロイキン33を標的としたヘリコバクターピロリ慢性胃病変の予防	4,400	1,320
公衆衛生学	島 正之	中国大都市における大気汚染の特性と健康影響に関する疫学研究	2,600	780
環境予防医学	若林 一郎	新しい血圧脈波検査を用いた末梢動脈疾患に関する疫学研究	3,500	1,050
法医学	西尾 元	胸腺リンパ体質類似モデルの病態解析	6,800	2,040
遺伝学	振津 かつみ	三つの原発重大事故の健康・生活影響と社会支援の国際比較	1,900	570
病理学(病院病理部門)	廣田 誠一	多様なレセプターチロシキナーゼ遺伝子変異の消化管間質腫瘍の病態への影響	4,400	1,320
外科学(肝・胆・膵外科)	藤元 治朗	外科手術後癒着形成分子機構に基づく新規包括的癒着制御法の開発と探索医療の模索	5,100	1,530
麻酔科学	廣瀬 宗孝	細胞膜透過性ペプチドを用いたがん性疼痛治療薬の開発	2,400	720
リハビリテーション医学	道免 和久	脳卒中片麻痺上肢集中訓練C1療法の神経基盤研究(拡散テンソル画像による)	1,700	510
リハビリテーション医学	小山 哲男	脳卒中患者の予後予測~拡散テンソル法FA値を用いた数式モデルの構築~	6,500	1,950
腫瘍免疫制御学	岡村 春樹	胃がん腹膜播種に対する新しい免疫細胞を用いた治療開発	3,400	1,020
先端医学研究所(アレルギー疾患研究部門)	善本 知広	I L-33と好塩基球によるアレルギー性鼻炎病態形成に関する研究	5,000	1,500
基盤研究(C)				
物理学	福田 昭	2層量子ホール系における動的コステリッツァーサウレス転移の研究	1,300	390
生物学	池田 啓子	ブラコードと神経堤の細胞間相互作用を司る分子基盤の解明	800	240
情報学	藤原 康宏	オンライン・ピア・アセスメントにおけるトラスト・マネジメント	1,200	360
解剖学(細胞生物部門)	前田 誠司	腎血圧調節機構における神経性および細胞性作用経路の解明	1,300	390
解剖学(神経科学部門)	八木 秀司	神経細胞内ミトコンドリア機能の新規制御機構の解明	1,100	330
解剖学(神経科学部門)	山中 博樹	末梢神経損傷時の痛覚伝達経路でのL1-CAMのリン酸化と可塑性変化に対する影響	1,100	330
解剖学(神経科学部門)	小林 希実子	末梢神経障害後の脊髄マイクログリアでのATP受容体-Rhoを介した形態変化の解析	1,300	390
解剖学(神経科学部門)	福岡 哲男	GDNFを介した後索核経路の神経障害性疼痛のメカニズム解明	1,200	360
生理学(生体機能部門)	平田 豊	TRPチャネル発現グリア細胞が担う中枢性呼吸調節機構の解明	1,200	360
生化学	鈴木 敬一郎	認知機能や情動行動に及ぼす酸化ストレスの影響	1,400	420
生化学	藤原 範子	新規モノクローナル抗体を用いた変異SOD1の構造解析とALS免疫療法の開発	1,300	390
生化学	崎山 晴彦	転写因子ChREBPを標的とした生活習慣病の予防法および治療薬の開発	1,600	480
薬理学	竹村 基彦	拘束水浸ストレスによる胃粘膜ヒスタミンの代謝変動	500	150
病原微生物学	林 周平	ヒトヘルペスウイルス6増殖におけるS100A8/S100A9の役割	1,200	360
免疫学・医動物学	安田 好文	糞線虫感染に伴うレフレル症候群の発症意義の解明	1,600	480
公衆衛生学	唐 寧	アジアダストの大気中二次生成有機有害化学物質への触媒作用に関する研究	1,600	480
環境予防医学	東山 綾	ニコチン酸及びその代謝関連酵素の血中濃度と循環器疾患リスクに関する地域疫学研究	1,600	480
遺伝学	玉置 知子	日本人悪性中皮腫に高頻度で見出された3p領域欠損の機能解析と診断への応用	1,600	480
遺伝学	中野 芳朗	Gorlin症候群由来細胞を用いたヘッジホッグ情報伝達系の解析	900	270
遺伝学	久保 秀司	二重制御型腫瘍溶解アデノウイルスを用いた新しい播種性癌治療法の開発	1,200	360
遺伝学	江見 充	グルタメイト脱水素酵素異常症モデルマウスによる病態解明と治療法の開発	1,300	390

「関節リウマチの関節破壊機序の解明と治療法の確立 — 偶然と準備 —」

内科学 リウマチ・膠原病科 主任教授 佐野 統



この度伝統ある日本リウマチ学会賞を受賞いたしました。受賞講演は私の研究テーマ「関節リウマチの関節破壊機序の解明と治療法の確立」をタイトルとし、ルイ・パスツールの言葉「偶然は準備をしていない人を助けない」を副題としました。偶然、すなわちチャンスは至るところにあるが、それを掴むかどうかは日頃の準備である、と私は思っています。

私は昭和53年京都府立医科大学を卒業後、父の勧めもあり京都大学内科で研修(膠原病患者さんとの出会い)し、新香里病院、京都大学第二内科大学院(指導教授 井村裕夫先生)、米国国立衛生研究所(NIH)留学(Wilder博士、Chrousos博士のご指導と現コーネル大学Hla教授との出会い)、京都府立医科大学第一内科(近藤元治教授のご指導と研究室作り)を経て、平成14年兵庫医科大学リウマチ・膠原病科初代教授に就任いたしました。研究テーマは一貫して「関節リウマチの発症機序の解明と新規治療薬の開発」です。幸運にもサイエンス誌をはじめ、多くの学術雑誌で研究成果を発表できました。半分以上は兵庫医大での仕事です。多くの恩師の先生、同僚、後輩、そして優秀な教職員に恵まれました。この場をお借りしてお世話になった皆様に深謝致します。



最後に、恩師 井村裕夫先生の言葉を若い先生に送ります。「海図のない海へ思い切って乗り出して欲しい。学問の進歩にとって何が最も重要かという洞察力と、事実を注意深く読む観察力と、失敗を恐れぬ勇気が必要である。日本人に足りないのは独創性ではなく、野心と勇気である。」(生命のメッセンジャーに魅せられた人々:羊土社)

今後とも、リウマチ・膠原病科にご指導・ご鞭撻のほど宜しくお願い致します。

(単位：千円)

所 属	研究代表者	研究課題名	交付内定額	
			直接経費	間接経費
基盤研究 (C)				
遺伝学	岡野 善行	環境癌における3p21領域ゲノム構造異常の詳細解析	2,400	720
病理学(機能病理部門)	大山 秀樹	インターロイキン22を用いた新しい歯周組織再生療法開発のための基礎的研究	1,200	360
病理学(機能病理部門)	山田 直子	インターロイキン18関連がん転移抑制因子の同定とその機構の解明	1,100	330
病理学(機能病理部門)	寺田 信行	ヒストン脱アセチル化及び遺伝子メチル化阻害剤による骨肉腫細胞抗癌剤耐性誘導の抑制	1,300	390
病理学(分子病理部門)	辻村 亨	悪性胸膜中皮腫の進展・浸潤メカニズムの解析：病理診断への応用と新規治療法の開発	1,200	360
病理学(分子病理部門)	鳥井 郁子	疾患モデルを用いた腸管粘膜の免疫調節機構の解明：制御細胞の機能解析	1,200	360
病理学(分子病理部門)	佐藤 鮎子	細胞接着分子CD146に着目した悪性胸膜中皮腫の早期診断と病態の解明	1,200	360
内科学(循環器内科)	増山 理	心腎貧血連関ネットワークの解析と新規治療戦略の開発	1,700	510
内科学(循環器内科)	内藤 由朗	高血圧症における鉄の関与と新規予防戦略の開発	1,500	450
内科学(血液内科)	小川 啓恭	ヒト白血球抗原半合致移植の成立機序の解析	1,200	360
内科学(糖尿病・内分泌・代謝科)	小山 英則	肥満・動脈硬化における終末糖化産物受容体を介した炎症シグナルの意義	1,300	390
内科学(肝・胆・膵科)	西口 修平	慢性肝疾患における肝細胞障害と肝内凝固亢進状態の関連性に関する検討	1,900	570
内科学(肝・胆・膵科)	榎本 平之	肝癌由来増殖因子の血管新生と肝癌増殖における役割の検討	1,200	360
内科学(上部消化管科)	三輪 洋人	ストレス負荷時の食道生理機能変化を指標とした非びらん性胃食道逆流症の病態解析	2,100	630
内科学(上部消化管科)	福井 広一	Reg蛋白の消化管粘膜保護作用に関する研究	600	180
内科学(上部消化管科)	大島 忠之	ディスペプシア症状発現における十二指腸上皮細胞間接着装置とIL-33に関する検討	1,300	390
内科学(呼吸器・RCU科)	田端 千春	肺線維症などの難治性肺疾患に対する新規治療開発	1,100	330
内科学(神経・脳卒中科)	木村 卓	筋強直性ジストロフィー症における中枢神経スプライシング異常の分子機序の解明	600	180
内科学(腎・透析科)	中西 健	腎性貧血治療における鉄貯蔵状態と造血細胞分化・鉄利用の関係の検討	2,200	660
放射線医学	上紺屋 憲彦	ハイリスク放射線治療患者での直腸粘膜障害の予防と治療ー亜鉛製剤の設計と評価ー	1,500	450
皮膚科学	山西 清文	魚鱗様紅皮症の病態に関する研究	1,300	390
外科学(肝・胆・膵外科)	飯室 勇二	肝組織修復における類洞内皮細胞、星細胞の役割解明と骨髄、脾臓との臓器相関の解析	1,400	420
外科学(肝・胆・膵外科)	平野 公通	肝癌脈管侵襲・進展に関与する分子の探索および制御法の開発	1,600	480
外科学(肝・胆・膵外科)	宇山 直樹	Plakin Family蛋白発現制御による肝内胆管癌治療戦略	1,100	330
外科学(小児外科)	奥山 宏臣	低出生体重児の腸管機能不全と消化管サーファクタントの関連性に関する研究	1,500	450
外科学(上部消化管外科)	笹子 三津留	上皮間葉系細胞分化転換関連分子を標的とする新しい胃がん腹膜転移治療法の開発	1,200	360
外科学(上部消化管外科)	菊池 正二郎	がん微小環境における転移制御因子の同定と胃がん治療戦略の確立	1,000	300
外科学(下部消化管外科)	富田 尚裕	スプライシング因子阻害剤とヒストン脱アセチル化酵素阻害剤の併用効果の検討	1,200	360
外科学(下部消化管外科)	松原 長秀	炎症を母地とする非定形消化器癌の発癌機構の解明と早期診断バイオマーカーの開発	1,100	330
外科学(下部消化管外科)	野田 雅史	網羅的遺伝子解析による大腸癌リンパ節外転移の診断法確立と新たな転移関連因子の検索	1,900	570
外科学(下部消化管外科)	山野 智基	ケモカインCCL2と腫瘍溶解アデノウイルスを用いた新しい癌ワクチン療法の開発	1,100	330
形成外科学	垣淵 正男	端側型神経移植による顔面神経再生様式の解析	2,600	780
形成外科学	河合 建一郎	糖尿病性創傷治療障害における血清由来Nanoparticleの役割の解明	1,400	420
泌尿器科学	呉 秀賢	進行性腎細胞癌に対するLexatumumab併用テムシロリムス療法の開発	1,000	300
脳神経外科学	泉本 修一	WT1免疫療法における脳局所の抑制系・促進系免疫機序の解明と抑制克服法の開発	900	270
眼科学	三村 治	甲状腺眼症の病態解明と新規治療法の確立	500	150
耳鼻咽喉科学	都築 建三	メンソール、カプサイシンが神経系を介して鼻炎、副鼻腔炎の病態に及ぼす影響	1,900	570
呼吸器外科学	長谷川 誠紀	悪性胸膜中皮腫に対する分子標的薬治療の模索	1,500	450
呼吸器外科学	松本 成司	悪性胸膜中皮腫におけるantiIL-6受容体抗体療法の開発	1,100	330
呼吸器外科学	黒田 鮎美	ヒアルロン酸/CD44/MEK経路遮断による悪性胸膜中皮腫治療の開発	1,500	450
麻酔科学	多田羅 恒雄	侵襲時におけるヒドロキシエチルデンプン製剤の血管内皮糖鎖構造の保護効果	1,200	360
歯科口腔外科学	野口 一馬	難治性口腔癌に対するヘッジホッグシグナルを応用した治療戦略	1,400	420
歯科口腔外科学	長谷川 誠実	歯痛と海馬の可塑性および帯状回・扁桃核との機能連携の解析	1,200	360
歯科口腔外科学	高岡 一樹	組織内微小環境因子を標的とした骨治癒促進効果	1,200	360
歯科口腔外科学	長谷川 陽子	咀嚼する食品の味・香りがストレス反応に与える影響	1,900	570
救急・災害医学	小谷 稔治	日本人の重症病態とTLR/IL-1RファミリーのIL-18遺伝子多型と性差の関係	1,200	360
救急・災害医学	中尾 篤典	ラット出血性ショック蘇生後肺障害モデルにおける水素吸入療法の効果	1,800	540
地域総合医療学	奥田 真珠美	胆道閉鎖症術後と乳幼児の肝機能障害におけるヘリコバクター・ヘパティカスの役割解明	1,400	420
医療情報学	宮本 正喜	オントロジ技術を用いた内視鏡診断学習システムの開発	300	90
輸血部	藤盛 好啓	Srcファミリーキナーゼの悪性腫瘍進展での役割の解析と治療への応用	1,300	390
放射線画像センター核医学・PET診療部	今泉 昌男	マルチモダリティを用いた免疫グリア細胞のイメージング研究	1,000	300
病院病理部	羽尾 裕之	大動脈瘤の病理組織学的病態解明と新規治療の開発	1,200	360
病院病理部	松田 育雄	病理診断学とGISTモデルマウスの融合によるGISTのエピゲノム治療の開発	1,600	480
病院病理部	磯崎 耕次	カハールの介在細胞による消化管蠕動運動の制御機構の解析	900	270
先端医学研究所(細胞・遺伝子治療部門)	後藤 章暢	難治性膀胱癌に対するキメラ型細胞融解性ベクターを用いた新規治療法の開発	1,100	330
先端医学研究所(細胞・遺伝子治療部門)	小山 倫浩	肺癌内薬物代謝酵素発現の網羅的解析による新規抗癌剤感受性評価法の開発	1,500	450

(単位：千円)

所 属	研究代表者	研究課題名	交付内定額	
			直接経費	間接経費
挑戦的萌芽研究				
解剖学(神経科学部門)	野口 光一	神経障害性疼痛におけるDRG遺伝子発現の新規制御因子	1,300	390
生理学(生体機能部門)	越久 仁敬	頸部干渉波電気刺激の嚥下機能改善効果の検討	2,000	600
生理学(生体情報部門)	西崎 知之	Gタンパク質αサブユニットによる悪性中皮腫増殖制御経路の解明	1,400	420
病原微生物学	筒井 ひろ子	劇症肝炎の責任病態である肝局所DICの細胞・分子メカニズムの解析	1,400	420
公衆衛生学	島 正之	浮遊粒子中のエンドトキシン定量法の開発と喘息の病態との関連性の評価	1,700	510
環境予防医学	若林 一郎	新しいペプチドーム解析法を用いた飲酒による血圧変動起因物質の探索	800	240
医学教育学	成瀬 均	スキルスラボを用いた多職種医療人に対する医療安全教育と実技試験	500	150
外科学(上部消化管外科)	前山 義博	高度侵襲時における腸管機能不全の免疫学的機序解明と新規治療法の開発	1,200	360
泌尿器科学	兼松 明弘	乳児排尿測定装置の開発	1,000	300
歯科口腔外科学	浦出 雅裕	口腔癌の再発・転移に対するバイオマーカーとしてのマイクロRNA探索	1,700	510
先端医学研究所(神経再生研究部門)	中込 隆之	脳傷害誘導性神経幹細胞の血管分化能に関する検討	1,000	300
先端医学研究所(アレルギー疾患研究部門)	善本 知広	IL-33によるアルツハイマー病発症機序の解析	1,500	450
研究活動スタート支援				
法医学	奥平 准之	法医解剖症例における胸腺リンパ体質と突然死の分子メカニズムの解析	1,100	330
新学術領域研究				
物理学	福田 昭	量子ホール系におけるエッジ状態とトポロジカル励起の研究	1,900	570
若手研究 (A)				
英語	作間 未織	小児科病棟における医原性有害事象の発生率及びリスク因子測定のための臨床疫学研究	6,600	1,980
若手研究 (B)				
数学	大門 貴志	抗がん剤の用量探索研究のデザイン及び統計的推測法の開発	600	180
物理学	寺澤 大樹	グラフェンにおけるスカーミオン励起の研究	1,300	390
化学	江崎 啓祥	新規パラジウム触媒の機能性開発研究	900	270
解剖学(細胞生物部門)	大谷 佐知	下垂体の水分バランス調節におけるアクアポリンの役割解明	1,000	300
生理学(生体情報部門)	菅野 武史	悪性胸膜中皮腫に対する新規ナフトピジル誘導体の抗腫瘍効果の判定	1,200	360
生化学	江口 裕伸	新規糖尿病マーカーとしてのニトロ化IL-18の評価とELISAの確立	1,000	300
生化学	吉原 大作	老化と鉄：活性酸素シグナルによる鉄代謝調節機構の解明	1,600	480
薬理学	長野 貴之	ミクログリアの細胞機能調節によるアルツハイマー病治療の検討	1,000	300
環境予防医学	江口 良二	免疫抑制剤による血管内皮障害の分子機序の解明	1,300	390
内科学(リウマチ・膠原病科)	北野 将康	関節リウマチの骨破壊に対するS1P/S1P1シグナルの役割	1,600	480
内科学(リウマチ・膠原病科)	関口 昌弘	人工抗体を用いた滑膜増殖の制御	900	270
内科学(上部消化管科)	近藤 隆	ラット逆流性食道炎モデルにおけるプロスタグランジンと自発運動への関与	1,400	420
内科学(総合診療科)	太田 好紀	集中治療室(ICU,NICU)における薬剤性有害事象に関する臨床疫学研究	1,000	300
放射線医学	土井 啓至	新規放射線防護材としてのスタチンの可能性と肥満が及ぼす影響	600	180
精神科神経科学	林田 和久	DSM-5のチェック関連性強迫性障害の妥当性、信頼性、臨床的有用性に関する検討	1,000	300
皮膚科学	今井 康友	IL-27による炎症性皮膚疾患の治療的役割の解析	1,600	480
皮膚科学	山本 雅章	皮膚におけるインターロイキン36の活性化に関する研究	900	270
外科学(小児外科)	野瀬 聡子	骨髄間葉系幹細胞は組織腸管上皮幹細胞を支配するの	1,300	390
形成外科学	曾東 洋平	レーザー光による骨切り後の骨癒合の研究	1,600	480
形成外科学	藤田 和敏	酸化ストレスが創傷治癒、肥厚性癒痕形成に与える影響について	1,500	450
泌尿器科学	鈴木 透	副刺激を調節したγδT細胞を用いた新たな養子免疫療法の可能性の検討	900	270
眼科学	田片 将士	リンパ球Sema4D分子標的による神経再生療法の検討	1,300	390
耳鼻咽喉科学	宇和 伸浩	頭頸部癌におけるケモカインレセプターと癌幹細胞マーカー	1,100	330
耳鼻咽喉科学	任 智美	ヒトの舌知覚閾値測定	900	270
歯科口腔外科学	頭司 雄介	口腔がん幹細胞モデル細胞株の樹立とがん幹細胞を標的とした治療法の開発	1,600	480
歯科口腔外科学	奥井 森	シスプラチン腎炎におけるIL-18の役割と各種阻害剤の効果について	1,500	450
救急・災害医学	尾迫 貴章	エンドトキシン血症肺毛細血管モデルにおけるヒスタミン受容体発現と血管透過性の関係	1,600	480
ベインクリニック部	恒遠 剛示	モルヒネ慢性投与下におけるベンゾジアゼピン感受性増強の関連性の解明	1,000	300
リハビリテーション医学	森下 慎一郎	造血幹細胞移植患者の無菌室での身体活動パターンの解明と自主運動プログラムの開発	1,600	480
先端医学研究所(神経再生研究部門)	土江 伸誉	うつ病の発症脆弱性規定因を検討可能な行動科学的動物モデルの確立	1,400	420
先端医学研究所(アレルギー疾患研究部門)	松下一史	肺を起点としたアレルギー疾患発症機構の解明	1,400	420
計 (138件)			233,900	70,170
			304,070	

平成25年度 科学研究費助成事業(奨励研究)交付内定一覧

(単位:千円)

所属	研究代表者	研究課題名	交付内定額	
			直接経費	間接経費
奨励研究				
生理学(生体機能部門)	志賀 真理	中枢性化学受容体の反応性における生後発達について	600	0
呼吸器外科学	米田 和恵	肺癌患者末梢血液中の循環腫瘍細胞(CTC)と上皮間葉移行(EMT)に関する研究	500	0
歯科口腔外科	木崎 久美子	周術期の歯科介入が疾患の予後に与える影響～兵庫医科大学病院におけるコホート研究～	600	0
リハビリテーション部	笹沼 直樹	高齢心臓血管外科術後患者への低負荷抵抗運動が筋力、日常生活動作スコアへ及ぼす影響	600	0
リハビリテーション部	梅田 幸嗣	人口呼吸管理患者における体位変換時の横隔膜活動の変化について	600	0
リハビリテーション部	福岡 達之	嚥下障害患者に対する経皮的頸部電気刺激が嚥下機能に及ぼす影響	600	0
計 (6件)			3,500	0
			3,500	

平成25年度 公的資金一覧

(単位:千円)

区分	研究課題(プロジェクト)名	所属部署	職名	研究代表者等	事業費	交付(配分)予定額	備考
戦略的研究基盤形成支援事業	難治性疼痛の分子メカニズム解明から治療戦略開発へ向けた研究拠点形成	解剖学 神経科学部門	主任教授	野口 光一	28,000	14,000	平成21年度～25年度 文部科学省
	アレルギー性炎症:原因の解明と治療技術の開発	先端医学研究所 アレルギー-疾患研究部門	研究所教授	善本 知広	30,000	15,000	平成22年度～26年度 文部科学省
	病原体とガンのアジュバントの研究拠点		学長	中西 憲司	50,000	25,000	平成24年度～27年度 文部科学省
	がん微小環境を標的とする消化器がん治療法の開発	外科学 上部消化管外科	主任教授	笹子 三津留	42,000	21,000	平成24年度～27年度 文部科学省
	中皮細胞の統合的研究拠点形成	内科学 呼吸器・RCU科	主任教授	中野 孝司	40,000	20,000	平成24年度～28年度 文部科学省
大学改革推進等補助金「がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン」	7大学連携先端のがん教育基盤創造プラン		学長	中西 憲司	9,649	9,649	平成24年度～28年度 文部科学省
次世代がん研究シーズ 戦略的育成プログラム	分子プロファイリングによる新規標的の同定を通じた難治がん治療法開発(悪性上皮腫のプロファイリングによる新規分子標的の同定)	内科学 呼吸器・RCU科	主任教授	中野 孝司	10,500	10,500	平成23年度～27年度 独立行政法人科学技術振興機構
戦略的国際科学技術協力推進事業	アナリシス・バイ・シンセシスによるニューロンネットワークモデルの推定と自発性同期現象を生成する神経回路メカニズムの解明	生理学 生体機能部門	主任教授	越久 仁敬	4,830	4,830	平成24年度～26年度 独立行政法人科学技術振興機構
計					214,979	119,979	

財団法人等各種団体による研究助成金等の交付状況

(単位:千円)

助成団体名	研究課題名	研究者	交付額
(公財)内藤記念科学振興財団	腸管寄生線虫感染マウスにおける好酸球集積に対するIL-33とナチュラルヘルパー細胞の働き	安田 好文	500
(公財)ひょうご科学技術協会	高血圧の病態形成における鉄の関与と新規予防戦略の確立	内藤 由朗	1,000
(公財)兵庫県健康財団	IgA腎症患者の扁桃の特異的な歯周病菌への免疫応答の検討	長澤 康行	350
(公財)兵庫県健康財団	α1ブロッカーの適応拡大に向けた研究	長屋 寿雄	250

平成25年度 大学院学生研究助成受給者

(単位:円)

番号	専攻	学年	氏名	研究課題	備考
1	医科学専攻 高次神経制御系 神経内科学	4	未永 浩一	筋強直性ジストロフィーにおける中枢神経病態の検討	700,000
2	医科学専攻 環境病態制御系 公衆衛生学	4	余田 佳子	大気中微小粒子状物質(PM2.5)及びオゾンの健康者の気道炎症に与える影響	700,000
3	医科学専攻 環境病態制御系 環境病態医学	3	下村 智子	ジアシルグリセロールキナーゼによる血管平滑筋細胞における誘導型NO産生の調節メカニズム	600,000
4	先端医学専攻 疼痛情報制御系 疼痛神経学	4	神田 浩里	末梢神経障害後の脊髄におけるPGI2合成酵素と受容体の発現と疼痛行動への関与	500,000
5	医科学専攻 高次神経制御系 耳鼻咽喉科学・頭頸部外科学	4	福永(坂口) 明子	中耳手術後の味覚障害、舌知覚異常に関する研究	500,000
6	医科学専攻 器官・代謝制御系 内分泌代謝学	3	角谷 学	脳由来神経栄養因子の血管平滑筋細胞泡沫化、ミトコンドリア機能への影響	500,000
7	医科学専攻 器官・代謝制御系 下部消化管外科学	4	濱中 美衣	大腸発癌におけるDKK遺伝子群のメチル化とWntシグナル伝達系への関与	500,000
合計					4,000,000

(注)番号は評価成績の順

名誉教授称号授与

次の2名の方に兵庫医科大学名誉教授の称号が授与されました。

小森 慎二 前主任教授(産科婦人科学)

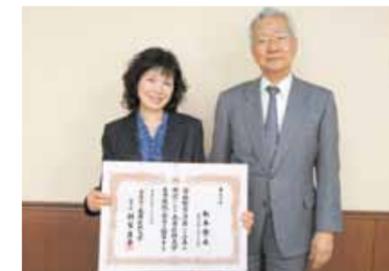
(平成24年 6月21日 ご逝去)

松本 譽之 前主任教授(内科学(下部消化管科))

(平成24年 10月21日 ご逝去)



小森慎二 前主任教授 御夫人 小森恵子様



松本譽之 前主任教授 御夫人 松本孝子様

学位授与

学位記(甲)

報告番号	氏名	専攻系	授与年月日	博士論文名
甲第632号	横山 聡子	医科学	H25.5.2	Endoscopic and clinical features of gastric ulcers in Japanese patients with or without <i>Helicobacter pylori</i> infection who were using NSAIDs or low-dose aspirin
甲第633号	山本 雅章	先端医学	H25.6.6	Serum cytokines correlated with the disease severity of generalized pustular psoriasis

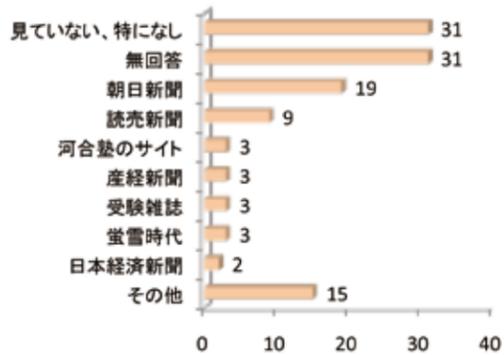
学位記(乙)

報告番号	氏名	専攻系	授与年月日	博士論文名
乙第354号	丸山 琢雄	泌尿器科学	H25.5.2	Apoptosis of Bladder Cancer by Sodium Butyrate and Cisplatin

兵庫医科大学 広報関連新入生アンケート

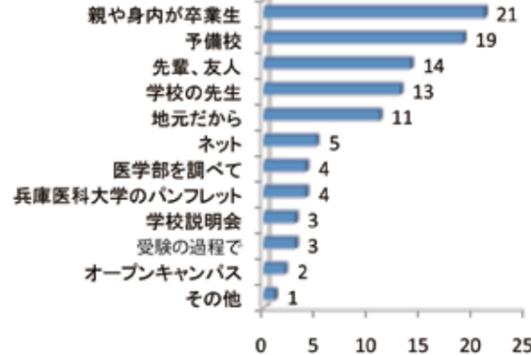
平成25年度兵庫医科大学の新入生に4月5日入学式にてアンケートを配布し、109人から回答を得た内容をまとめました。(無回答や複数回答があるためトータルは109となりません。)

表1. 高校時代に見ていた新聞、受験雑誌、サイト(人)



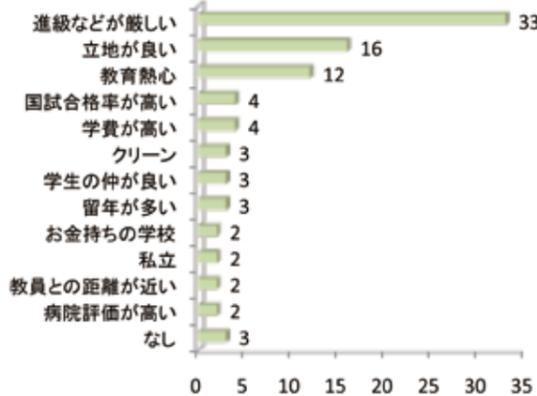
無回答の捉え方にもよるが、受験勉強に忙しく新聞などを見ている時間が少ないと思われる。

表2. 本学を知ったきっかけ(人)



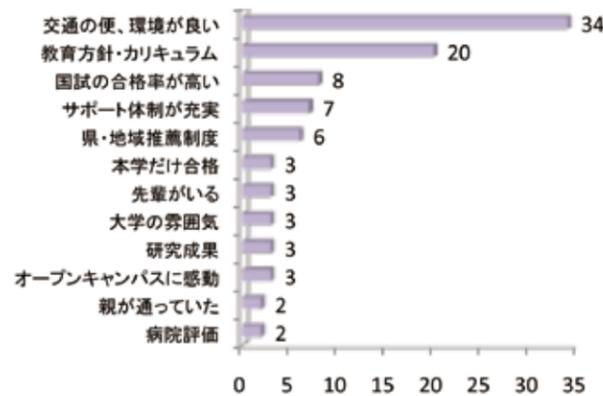
認知度を高めるには、卒業生との意思疎通をこれまで以上に図り、予備校と高校への広報活動が重要になってくる。

表3. 本学に抱いていたイメージ(人)



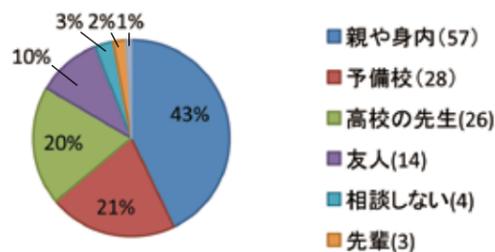
「学費が高く、お金持ちの学校、留年が多い」、これ以外のマイナスイメージは見当たらないが、本学の取り組むべき課題でもある。

表4. 本学を選んだ理由(人)



本学の立地条件をアピールすることも重要な要件であり、今後の広報活動に生かすべきである。

表5. 受験する際の相談相手(人)



複数の関係者と相談している回答が目立っている。親や身内以外では、予備校と高校の先生が、重大な位置を占めている。

表6. これまでに見かけた本学の広告(人)

JR・阪急・地下鉄三宮駅	11
新聞	8
大学ホームページ	6
オープンキャンパス	2
大阪地下鉄難波駅	2
予備校掲示板	1
ネット	1
テレビ	1
見かけない	38

駅の看板は、見た人が近畿圏ばかりで再認知としての効果はあった。新聞広告の有効活用とホームページの充実が急がれる。

平成26年度 入学試験

◆入学試験

一般公募制推薦入学試験

試験日	平成25年11月10日(日)
募集人数	約15名(特別選抜推薦入試1名を含む)
出願期間	平成25年10月23日(水)～平成25年11月5日(火)必着

地域指定制推薦入学試験

試験日	平成25年11月10日(日)
募集人数	5名以内
出願期間	平成25年10月23日(水)～平成25年11月5日(火)必着

一般入学試験

試験日	平成26年1月22日(水)
	平成26年2月1日(土)または2日(日)(希望日選択制)
募集人数	約75名
出願期間	平成25年12月9日(月)～平成26年1月14日(火)消印有効

大学入試センター試験利用入学試験

試験日	第1次試験 平成26年1月18日(土)・19日(日)センター試験
	第2次試験 平成26年2月18日(火)
募集人数	約15名
出願期間	平成25年12月9日(月)～平成26年1月17日(金)消印有効

平成25年 オープンキャンパス・相談会日程

◆オープンキャンパス

【第1回】平成25年8月2日(金) 13:00～16:30
【第2回】平成25年8月20日(火) 13:00～16:30

受付	12:30～13:00 兵庫医科大学 西宮キャンパス 3号館4階 3-3講義室前
内容	入試概要説明 予備校進学アドバイザー講演(20日のみ) 模擬講義 キャンパス見学 体験コーナー 個別相談 ビデオ放映 在学生との交流コーナー 学生生活ポスター展示



◆相談会

日程	日時		場所	会場	相談会名
	日	時間			
6月22日(土)	6月22日	11:00～17:30	大阪	インテックス大阪(6号館A・Bゾーン)	テレメール進学ガイダンス&夢ナビライブ2013
7月13日(土)	7月13日	11:00～16:00	大阪	大阪国際会議場(イベントホール)	全国国公立・有名私大相談会2013
7月15日(月・祝)	7月15日	11:00～17:00	東京	池袋サンシャインシティ(文化会館展示ホールD)	全国国公立・有名私大相談会2013
7月28日(日)	7月28日	11:00～16:00	横浜	パシフィコ横浜(展示ホールB)	全国国公立・有名私大相談会2013
7月29日(月)	7月29日	12:00～18:00	広島	広島ガーデンパレス	私立医科系大学進学相談会2013
8月3日(土)	8月3日	11:30～16:30	東京	順天堂大学	平成25年度私立医科大学合同入試説明会・相談会
8月6日(火)	8月6日	12:00～18:00	大阪	新大阪ブリックビル	私立医科系大学進学相談会2013
8月9日(金)	8月9日	12:00～18:00	福岡	FFBホール	私立医科系大学進学相談会2013
8月15日(木)	8月15日	12:00～18:00	名古屋	ミッドランドホール	私立医科系大学進学相談会2013
8月24日(土)	8月24日	11:30～16:30	大阪	関西医科大学	平成25年度私立医科大学合同入試説明会・相談会
9月7日(土)	9月7日	11:30～16:30	福岡	福岡大学	平成25年度私立医科大学合同入試説明会・相談会
9月23日(月・祝)	9月23日	11:30～16:30	埼玉	埼玉医科大学	平成25年度私立医科大学合同入試説明会・相談会
10月5日(土)	10月5日	13:00～16:30	大阪	大阪城ホール内 東側 城見ホール	代ゼミ全国医歯薬科大学受験相談会
10月19日(土)	10月19日	13:00～16:30	東京	新宿エルタワー30F サンスカイルーム	代ゼミ全国医歯薬科大学受験相談会

詳しくは入試課へお問い合わせください。 学務部 入試課 TEL:0798-45-6162

副学長就任挨拶 〈6月1日就任〉



藤田 幸久

最初に、本年3月末をもちまして定年退職を無事に迎えることが出来ました。兵庫医科大学および兵庫医療大学での40年の長期に及ぶ、皆様のご指導とご厚情に心より感謝申し上げます。

この度、馬場明道学長の新体制のもとで、学生支

援・生涯教育を担当する副学長(専任)を拝命いたしました。本学では、今年度より開学からの第2ステージとして、本学の社会的認知度を高め、近畿圏の医療総合大学としてのポジショニングを確固たるものにするべく、全学一丸となって取り組んでおります。この目標を達成するためには、在学生および卒業生に対する万全の支援体制の確立と卒業生が誇りを持ち、生き甲斐を実感できる就職先を確保することが不可欠であります。心新たに、担当の副学長として、職責を全うするよう微力ながら精一杯努力する所存でございます。

皆様のご指導とご鞭撻を心よりお願い申し上げます。

教授就任挨拶 〈4月1日就任〉



薬学部
天野 学

平成25年4月1日付けで薬学部 教授に着任させていただきました天野学でございます。私は、薬局および病院で薬剤師として約25年勤務したのち、約2年半 他大学薬学部で教員として勤務し、このたび兵庫医療大学で教鞭をとらせていただくことになりました。

近年は、医療環境の高度化・複雑化が加速しており、医療人としての薬剤師にも高度の知識や技術が求められるようになってまいりました。これに対応すべく、病院薬剤師としては、がん、精神科、感染症、妊婦・授

乳婦、HIVなどの領域で、薬局薬剤師としては、在宅療養支援、スポーツにおけるアンチドーピングなどの領域でスペシャリストを育成することが急務となり、現在も対応が進んでいます。

私は、スペシャリストとなるためには、まずあらゆる領域や状況に対応できるジェネラリストとなる必要があると考えています。薬剤師におけるジェネラリストは、「くすり全般の専門家」といえるものであります。そして、医療安全における薬が関わる領域のリスクマネージャーとしての役割も期待されています。すなわち、ジェネラリストは臨床現場での基礎力を有する存在です。このような能力を持つ人材は医療現場のどこでも必要とされるはずで、私は、このような基礎力を持った薬剤師を育てたいと思っております。

今後ともご指導ご鞭撻を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

名誉教授称号授与

次の方に兵庫医療大学名誉教授の称号が授与されました。

土肥 信之 前教授(リハビリテーション学部)

(平成24年 11月 4日 ご逝去)



土肥信之 前教授 御夫人 土肥亜紀子様

平成24年度 国家試験結果について

平成24年度 国家試験結果

第98回 薬剤師国家試験

試験日:平成25年3月2・3日 発表日:平成25年3月29日

区分	新卒		
	受験者数	合格者数	合格率
兵庫医療大学	125名	81名	64.8%
全国(6年制)	10,557名	8,826名	83.6%

第99回 保健師国家試験

試験日:平成25年2月15日 発表日:平成25年3月25日

区分	新卒			既卒		
	受験者数	合格者数	合格率	受験者数	合格者数	合格率
兵庫医療大学	106名	102名	96.2%	5名	4名	80.0%
[参考]本学昨年度	94名	89名	94.7%	10名	5名	50.0%
全国	15,136名	14,751名	97.5%	1,284名	1,013名	78.9%

第48回 理学療法士国家試験

試験日:平成25年2月24・25日 発表日:平成25年3月29日

区分	新卒			既卒		
	受験者数	合格者数	合格率	受験者数	合格者数	合格率
兵庫医療大学	43名	42名	97.7%	—	—	—
[参考]本学昨年度	31名	31名	100.0%	2名	2名	100.0%
全国(新卒+既卒)	11,391名	10,104名	88.7%	—	—	—

第102回 看護師国家試験

試験日:平成25年2月17日 発表日:平成25年3月25日

区分	新卒			既卒		
	受験者数	合格者数	合格率	受験者数	合格者数	合格率
兵庫医療大学	106名	106名	100.0%	1名	1名	100.0%
[参考]本学昨年度	94名	93名	98.9%	—	—	—
全国	51,458名	48,413名	94.1%	5,072名	1,811名	35.7%

第96回 助産師国家試験

試験日:平成25年2月14日 発表日:平成25年3月25日

区分	新卒			既卒		
	受験者数	合格者数	合格率	受験者数	合格者数	合格率
兵庫医療大学	8名	8名	100.0%	1名	1名	100.0%
[参考]本学昨年度	8名	7名	87.5%	—	—	—
全国	2,010名	1,987名	98.9%	103名	85名	82.5%

第48回 作業療法士国家試験

試験日:平成25年2月24・25日 発表日:平成25年3月29日

区分	新卒			既卒		
	受験者数	合格者数	合格率	受験者数	合格者数	合格率
兵庫医療大学	44名	43名	97.7%	2名	1名	50.0%
[参考]本学昨年度	37名	35名	94.6%	2名	2名	100.0%
全国(新卒+既卒)	5,279名	4,079名	77.3%	—	—	—

薬学部



学部長
西山 信好

第一期卒業生が挑んだ薬剤師国家試験での合格率は残念ながら64.8%と奮いませんでした。全国合格率83.6%から18.8ポイントも低かった現実を厳しく受け止め、国家試験対策を速やかに再構築しました。具体的には、全教員及び全学生に国家試験が最重要であるとの認識をあらためて徹底したうえで、卒業研究を早期に終了させ、学内教員による演習講義も前倒しで実施し、後期には外部講師を入れた能力別クラス編成講義を実施します。さらに、学生主体による国試対策勉強会を立ち上げ、グループ学習による学生間相互の学力向上を図っています。加えて、教育支援室による成績不振者への学習支援や、1年生の基礎学力を底上げするための高校教育と大学教育のブリッジ補習も新しい取組みとして始めています。来春こそは6年生全員の笑顔を見たいと思います。

看護学部



学部長
竹田 千佐子

平成24年度本学部の国家試験合格率は、看護師100%、助産師100%、保健師96.2%と好成績を収めることができました。看護学部には学生部会と教員部会からなる国家試験研究会があり、国家試験合格率100%を目標に活動しています。例年、4年生の学生部会が先輩からのアドバイスをもとに国家試験までの具体的な目標設定と計画の立案を行い、5月には4年生全員に周知して合格に向けての本格的な学習を開始します。具体的な対策としては、模擬試験や特別講座(夏期・冬期)などを実施しています。教員部会は主に学生部会のサポートを行っていますが、学習方法に不安を抱いている学生や模擬試験の結果等で個別対応の必要な学生のサポート等を行っています。

リハビリテーション学部



学部長
藤岡 宏幸

平成24年度国家試験合格率は、理学療法士97.7%、作業療法士95.7%でした。理学療法士は新卒者43名中42名合格(97.7%)でした。作業療法士は新卒者44名中43名合格(97.7%)、既卒者2名中1名合格(50%)、全体で95.7%でした。

合格率の全国平均である理学療法士88.7%、作業療法士77.3%に比べ両学科とも高合格率を確保することができました。

学部全体で高合格率を維持できるように、普段の授業や実習から国家試験を意識するよう学生の指導を行っています。

兵庫医科大学病院やささやま医療センターをはじめ、実習などでお世話になっている施設の先生方には、今後ともよろしくご指導を賜りますようお願い申し上げます。

平成25年度 科学研究費助成事業 (科学研究費補助金・学術研究助成基金助成金) 交付内定一覧

下記のとおり、平成25年度は40件 総額70,330千円(うち直接経費54,100千円、間接経費16,230千円)の交付が内定しました。なお、平成24年度は42件 総額76,830千円(うち直接経費59,100千円、間接経費17,730千円)でした。

(単位:千円)

研究課題名	所属部局	研究代表者	交付内定額	
			直接経費	間接経費
基盤研究(B)				
遺伝子多型情報に基づくワルファリンの適正投与量設定へ向けた前向き臨床試験	薬学部	東 純一	4,200	1,260
集団感染予防のための環境を汚染しない陰部洗浄とおむつ交換技術の開発	看護学部	土田 敏恵	3,900	1,170
基盤研究(C)				
疾患による免疫系の活性化が肝薬物代謝酵素の機能に及ぼす影響	薬学部	九川 文彦	500	150
転移性肝がん患者への原発がん手術の体験を反映させた周手術期看護援助方法の考案	看護学部	小西 美ゆき	500	150
光切断リンカー付アフィニティ樹脂を用いた汎用的な生理活性物質探索法の開拓	薬学部	田中 明人	1,600	480
臨床検体に基づく実践的生体分子を標的とする天然由来分子標的抗がん剤の探索	薬学部	青木 俊二	800	240
膜破壊型殺菌消毒剤を活用した細菌の多剤耐性獲得に関する転写調節因子の分子機構解明	薬学部	前田 拓也	500	150
ペインセンサーTRPA1のチャネル活性抑制メカニズムの解明	薬学部	戴 毅	1,200	360
規則性ナノ空間光触媒の創製とラジカル化学的CO ₂ 固定化反応への展開	薬学部	甲谷 繁	800	240
HGFディスプレイ乳酸菌によるGVHDの制御	薬学部	岩崎 剛	1,100	330
炎症性腸疾患薬のファーマコゲノミック・バイオマーカーの機能的探索及び活用法の提案	薬学部	大野 雅子	1,200	360
慢性心不全における鉄代謝異常の検討	薬学部	辻野 健	1,600	480
慢性閉塞性肺疾患患者の急性増悪の予防・対処行動に関する測定尺度の開発	看護学部	松本 麻里	1,700	510
父親・母親に対する産後うつ病予防統合プログラムの開発	看護学部	西村 明子	1,800	540
色弱に配慮した服薬安全に資する「服薬トレイ」の開発研究	薬学部	石崎 真紀子	1,300	390
医療過誤防止と服薬アドヒアランス向上に資する医薬品カラーデザイン戦略の確立	薬学部	前田 初男	1,100	330
定常型社会におけるケアとそのシステム	共通教育センター	紀平 知樹	1,400	420
要介護高齢者の嚥下障害と服薬方法に関する研究	リハビリテーション学部	野崎 園子	1,100	330
ラジカル反応プロセスの触媒化研究	薬学部	宮部 豪人	1,200	360
C型肝炎ウイルスとマラリア原虫の肝特異的発現蛋白質が相互の増殖に及ぼす影響の解析	薬学部	長野 基子	1,400	420
リンパ節特異的な細胞動員シグナルによる免疫細胞の組織特異的動員と自己応答性の制御	薬学部	田中 稔之	1,600	480
神経因性疼痛における新規KチャネルとATPの役割に関する研究	薬学部	山本 悟史	2,800	840
学童保育における「学童保育版児童虐待対応マニュアル」の開発に関する研究	看護学部	鈴木 江三子	1,600	480
挑戦的萌芽研究				
C型肝炎患者の治療中のセルフマネジメントを促すグループ介入プログラムの効果の検証	看護学部	鈴木 久美	700	210
miRNA発現プロファイルを用いた肝薬物代謝能の変動予測	薬学部	森家 望	800	240
コーチングソフトウェアを用いた「見て、気づき、考える」車椅子移乗技術指導への挑戦	看護学部	増田 富美子	300	90
フィジカルアセスメント能力を高める協働学習型シミュレーション教育システムの開発	看護学部	網島 ひつる	1,400	420
サーモグラフィを体温管理に応用した基礎および感染症看護ケアシステムの構築	薬学部	芝田 宏美	2,000	600
若手研究(A)				
微弱電流刺激のエビデンスを創造する	リハビリテーション学部	坂口 顕	1,800	540
若手研究(B)				
排尿障害を有する脳卒中患者における自立支援からみた排尿誘導法の有用性	看護学部	鈴木 みゆき	2,200	660
人工抗体のシグナル伝達阻害薬への応用	共通教育センター	芝崎 誠司	1,400	420
ベンザイン等の不安定化学種を活用した新規反応の開発とその応用研究	薬学部	吉岡 英斗	900	270
X線結晶解析法及びX線溶液散乱法を用いた難分解性動物タンパク質分解機構の解明	薬学部	中野 博明	900	270
DNAメチル化をマーカーとした抗うつ薬個別化適正医療の基盤構築	薬学部	南畝 晋平	1,500	450
効果的な腸管運動促進手法の検討	リハビリテーション学部	森沢 知之	500	150
入院している小児の転倒・転落防止プログラム改訂版の作成とその効果の検証	看護学部	藤田 優一	400	120
老化制御シグナルによるタウリン欠乏センシング機構とサルコペニアにおける役割の解明	薬学部	伊藤 崇志	1,700	510
非可逆反応を利用した高感度かつ高選択的なカドミウムイオン蛍光プローブの開発	薬学部	塚本 効司	1,500	450
患者講師による学内教育プログラムの開発に関する研究	リハビリテーション学部	森 明子	400	120
研究活動スタート支援				
医療サービス施設の立地競争に関する空間計量分析	共通教育センター	西田 喜平次	800	240
計(40件)			54,100	16,230
				70,330

財団法人等各種団体による研究助成金等の交付状況

(単位:千円)

助成団体名	研究課題名	所属部局	研究代表者	交付額
日本私立学校振興・共済事業団 (学術研究振興資金)	人工抗体Affibodyの分子標的治療薬への応用	共通教育センター	芝崎 誠司	1,400
計(1件)				1,400

学校法人兵庫医科大学連携病院の会 合同病院説明会

平成25年4月27日に全学部、全在在生を対象とした学校法人兵庫医科大学連携病院の会 合同病院説明会が本学体育館アリーナで開催されました。本会は在在生が今後具体的な進路を検討していく段階において、就職先となる様々な医療機関の方々から直接お話を伺うことで、明確な目標をもって勉学や就職活動等に取り組んでもらうため、毎年就職サポートの一環として開催しています。

当日は快晴の中、50の医療機関等から150名にお越しいただき説明を行っていただきました。参加した学生は薬学部110名、看護学部134名、リハビリテーション学部理学療法学科82名、作業療法学科62名の計388名を数え、それぞれブースで医療機関等の説明を熱心に聞き、積極的に質問をしていました。

学生からは「全く興味がなかったところでも、話をきいて興味をもって良かった。」「詳しく説明していただけてとても参考になり、見学にも行ってみたい。」という声が聞かれ、全体で95%が参考になったとの回答がありました。また医療機関様からも「学生さんたちの印象と反応が良かった。満足度が高かった」と評価いただきました。



第6回欧州研修報告会

平成25年5月10日M108講義室において、第6回欧州研修の報告会が開催されました。欧州研修は“学生・教員とともに異文化に触れることにより、グローバルな視野を持ち、医療・福祉・教育分野の専門職に求められる役割・機能について考える機会”とすることを趣旨として開催されています。

第6回欧州研修は平成25年3月11日から22日に実施され、看護学部の1年生7名、2年生5名、3年生1名の計13名が参加しました。報告会は、学生主体で運営され、デンマークの医療制度について事前学習で調べたことや、現地の医療・福祉施設や教育関連施設で、学生が体験・学習した成果について報告されました。

学生からは「老後も自由に自分らしい生活を送ることができるという保障が、世界一幸せな国と言われる理由ではないかと思った」という感想や、「その国の福祉・医療・教育制度を理解するには、その国の人たちがどのように暮らしているのかを体感し、文化を感じることが大切だと思った」という意見が述べられました。



平成26年度 入学試験

◆入学試験

推薦入学試験 専願公募制

試験日	平成25年11月2日(土)
募集人数	薬学部 医療薬学科 20名 看護学部 看護学科 25名 リハビリテーション学部 理学療法学科 10名 リハビリテーション学部 作業療法学科 15名
出願期間	平成25年10月15日(火)～平成25年10月24日(木)消印有効

推薦入学試験 公募制A日程

試験日	平成25年11月3日(日)
募集人数	薬学部 医療薬学科 15名 看護学部 看護学科 10名
出願期間	平成25年10月15日(火)～平成25年10月24日(木)消印有効

推薦入学試験 公募制B日程

試験日	平成25年12月7日(土)
募集人数	薬学部 医療薬学科 10名
出願期間	平成25年11月21日(木)～平成25年12月2日(月)消印有効

大学入試センター試験利用入学試験 前期日程

試験日	大学入試センター試験日【平成26年1月18日(土)、19日(日)】
募集人数	薬学部 医療薬学科 5名 看護学部 看護学科 5名 リハビリテーション学部 理学療法学科 2名 リハビリテーション学部 作業療法学科 2名
出願期間	平成26年1月9日(木)～平成26年1月29日(水)消印有効

大学入試センター試験利用入学試験 後期日程

試験日	大学入試センター試験日【平成26年1月18日(土)、19日(日)】
募集人数	薬学部 医療薬学科 5名 看護学部 看護学科 3名
出願期間	平成26年3月12日(水)～平成26年3月20日(木)消印有効

一般入学試験 前期A日程

試験日	平成26年1月31日(金)
募集人数	薬学部 医療薬学科 35名 看護学部 看護学科 50名 リハビリテーション学部 理学療法学科 20名 リハビリテーション学部 作業療法学科 13名
出願期間	平成26年1月9日(木)～平成26年1月23日(木)消印有効 【窓口出願】平成26年1月24日(金)午前11時～午後5時

一般入学試験 前期B日程

試験日	平成26年2月1日(土)
募集人数	薬学部 医療薬学科 25名 リハビリテーション学部 理学療法学科 6名 リハビリテーション学部 作業療法学科 8名
出願期間	平成26年1月9日(木)～平成26年1月23日(木)消印有効 【窓口出願】平成26年1月24日(金)午前11時～午後5時

一般入学試験 前期C日程

試験日	平成26年2月16日(日)
募集人数	薬学部 医療薬学科 15名
出願期間	平成26年2月3日(月)～平成26年2月10日(月)消印有効

一般入学試験 後期日程

試験日	平成26年3月1日(土)
募集人数	薬学部 医療薬学科 10名 看護学部 看護学科 7名 リハビリテーション学部 理学療法学科 2名 リハビリテーション学部 作業療法学科 2名
出願期間	平成26年2月14日(金)～平成26年2月24日(月)消印有効

入試についてのお問い合わせ

入試センター
TEL:078-304-3030
E-Mail:nyushi@huhs.ac.jp

平成25年 オープンキャンパス日程

オープンキャンパス

8月10日(土) 8月11日(日) 8月24日(土) 8月25日(日)
13:00～17:00 (予定)



予約不要!
入退場自由!

開催プログラム(予定)

- ・大学説明ガイダンス
- ・学部学科イベント(体験実習)
- ・キャンパスツアー
- ・在学生と交流コーナー
- ・各種 個別相談 など

オープンキャンパスについてのお問い合わせ

広報・情報グループ
TEL:078-304-3034
E-Mail:kouhou@huhs.ac.jp

副院長(教育研修体制担当)就任挨拶 (4月1日就任)



心臓血管外科
宮本 裕治

本年4月より副院長を拝命しました心臓血管外科の宮本裕治です。卒後臨床研修を担当させていただきました。兵庫医科大学へ赴任してから10年目になりますが、これまでは連日、手術と臨床研究のみに専念しておりました。その間ずっと感じていたこ

とですが、他大学と同様に、外科系を目指す医師不足は深刻です。特に本学ではその傾向が強いことが問題でした。外科系のみならず内科系でも本学の卒業生が、兵庫医科大学病院での臨床研修を希望するような魅力あるプログラムとシステム作りを行うことが重要です。新入局者が増加すれば、関連病院との連携も深まってきます。外科系では、これまでの専門医制度が大きく変わりつつあります。そのような今後の変化を見据えて、太城病院長の指導のもと、多くの先生方と議論を行いながら勤めていきたいと考えております。何卒、ご指導ご協力をくださるようお願いいたします。

生殖医療センター長就任挨拶 (4月1日就任)



産科婦人科学
柴原 浩章

現在わが国は少子化という大きな問題を抱えています。そこで産婦人科ではお子様を望まれている多くのカップルに、より安心して不妊治療を受け子宝を授かっていただくことができますよう、本年4月1日に「生殖医療センター」を開院致しました。

婦人科、および男性不妊症担当の泌尿器科のいずれにも、治療経験の豊富な生殖医療専門医の有資格者がいることです。体外受精や顕微授精(卵細胞質内精子注入法)、精子・卵子や受精卵(胚)の凍結保存も行っています。なお当院におけるこの体外受精への取り組みは、既に30年の伝統を有し定評がございます。

特徴は外来診察を毎日オープンしていることと、産

婦人科疾患(子宮筋腫、卵巣嚢腫)をお持ちの方への妊娠前の手術も、当院でお受けいただくことができます。また妊娠後には引き続き、妊婦健診・ご出産・お子様の成長のフォローアップも全て当院にお任せいただくことが可能です。

今後も最新の生殖医療を提供していくことを目標に、スタッフ一同笑顔でお待ちしていますので、何卒よろしく御願い申し上げます。

病院就職説明会 開催

平成25年5月18日、兵庫医科大学病院にて平成26年度卒業予定の看護学生を対象に病院就職説明会を開催しました。当日は70名の参加があり、急性医療総合センターの見学および、職場の雰囲気や看護師としての働き方など、就職に関する話を気兼ねなく話せる先輩ナースとのディスカッションを行いました。

参加者からは「大学病院なので固いイメージがあったが、職員の方々が暖かく、良い印象を持つことができた」、「看護部長さんの人柄に触れて、大切に育てていただけると感じ、この病院で看護師としてのスタートを切りたいと思った」などの感想をいただきました。兵庫医科大学病院や働く先輩看護師の様子をより深く知ってもらえる良い機会となり、この説明会で応募につながることを期待しています。



兵庫医科大学病院 運営方針説明会を実施

平成25年6月3日、教職員に向けた兵庫医科大学病院の運営方針説明会が実施されました。

運営方針説明に先立ち、甲斐病院事務部長より、兵庫医科大学病院の平成24年度の事業報告が行われ、その後、太城病院長より、今年度の病院運営方針について説明がありました。

大学病院トップブランドを目指すというスローガンのもと、教職員一同が想いを新たにしました。



平成24年度 病院活動費配分

病院各部署の平成24年度功勞によって病院活動費が配分されることをうけ、平成25年6月3日、太城病院長より該当部署への表彰が行われました。

病院活動費は、稼働率、新患率、手術実績、文章作成実績、手術への協力部署の各部門において実績をあげた診療科や病棟に配分されるものです。各部署が明確な目標を持ち、目標達成に向けて日々の業務に取り組めるよう、インセンティブとして病院活動費の配分を行っています。



部門	部署名	部門	部署名
診療科 稼働率の部	呼吸器内科	文書作成実績の部	下部消化管外科
	肝・胆・膵外科		呼吸器・RCU科
病棟 稼働率の部 ※平成24年9月時点の病棟	NICU	手術協力の部	循環器内科
	10-7病棟		看護(アイセンター)
	10-6病棟	新患率の部	眼科
	13西病棟		呼吸器外科
	10-8病棟		心臓血管外科
11東病棟	手術実績の部	整形外科	

また、今回は平成24年度までに病院が承認した6つの医療チームに対し、日頃の活動を讃え、表彰状の授与を行いました。

医療チーム	チーム名	チーム名
医療チーム	呼吸ケアチーム	栄養サポートチーム
	感染対策チーム	褥瘡対策チーム
	緩和ケアチーム	エコーガイド下CVC挿入推進チーム

東日本大震災被災地支援 感謝状贈呈

2011年3月11日に発生した東日本大震災の被災地への支援に対し、全国医学部長病院長会議を通じ、厚生労働大臣より感謝状が贈呈されました。2011年9月より、全国医学部長病院長会議被災地医療支援委員会を通じ、全国の大学から被災地への支援が行われ、兵庫医科大学病院からも2011年10月～2013年2月の2年以上に渡り13名の医師を派遣し、支援を続けました。

感謝状の贈呈を受け、太城病院長は「国公立大学に比べ、分院を持つ私立医科大学からの支援が多かったこともあり、地域医療は私立医科大学が担っていることを実感しました。これからもさらに地域医療に貢献していきたいと思っております」と感想を述べました。



看護の日ふれあい看護体験

毎年5月12日は、近代看護の祖ナイチンゲールの生誕の日に因み「看護の日」と定められています。この日を含む週を看護週間とし、全国で様々な記念行事が催されます。

本学では、5月14日に「ふれあい看護体験」を開催しました。

「ふれあい看護体験」は、学生や一般の方々に病院の医療現場をより知ってもらうため、見学や簡単な看護体験をする企画です。今年は看護師を志す方が消化器内科の病棟で看護体験をし、実際に配膳作業やシーツ交換などを行いました。看護師体験を終え「何気ないことにも1つ1つ気を使っていて感動しました」「仕事中はキビキビと行動をする一方で、休憩中は楽しげな雰囲気であり、しっかりメリハリのある現場だと感じました」と日常では目にしなかった医療現場への率直な感想を述べていました。また「大変な仕事だと思いますが、改めて看護師を目指したいという気持ちが湧いてきました」と将来の姿に思いを馳せ、目を輝かせていました。



兵庫医大フロンティア医療セミナー

第9回(平成25年4月15日開催)

■褥瘡対策チーム

テーマ:「院内における褥瘡対策チームの活動」
演者:リハビリテーション部 講師 児玉 典彦

■緩和ケアチーム

テーマ:「緩和医療への取り組みと現状」
演者:ペインクリニック部 助教 福永 智栄

■呼吸ケアチーム(RST)

テーマ:「院内呼吸不全患者のサポートから重症化の早期発見へ」
コーディネータ:ICU 部長 西 信一

演題:「病棟看護師への提案とプランニング」
演者:ICU 看護主任 西山 実希

演題:呼吸サポート用医療機器に関する提言
演者:臨床工学室 臨床工学技士 富加見 教男

演題:呼吸音聴診とポジショニング
演者:リハビリテーション部 理学療法士 山崎 允

演題:口腔ケアの提言とプランニング
演者:歯科口腔外科 副主任技師 木崎 久美子

第10回(平成25年5月13日開催)

■感染対策チーム

テーマ:「チーム医療としての感染制御」
演者:感染制御部 部長 竹末 芳生

■エコーガイド下CVC挿入推進チーム

テーマ:「チーム医療と医療安全」
演者:医療安全管理部 副部長 中 聡夫
(内科 冠疾患科 講師)

■栄養サポートチーム(NST)

テーマ:「当院におけるNST活動について」
演者:臨床栄養部 講師 肥塚 浩昌

ささやま老人保健施設 お花見会開催

今年は例年に比べ桜の開花時期が早く、4月5日には篠山キャンパス敷地内の桜が満開となりました。

例年、入所者の方々を対象とした行事として『お花見会』を催していますが、今年は桜の満開に合わせ、慌しい開催となりました。まず、最初に通所リハビリテーション(デイサービス)利用者の方々が庭に繰り出し、お花見を楽しめました。まぶしすぎるほどの強い日差しでしたので、帽子をかぶり、一句考えたりお話ししたりして、楽しい時間を過ごされました。引き続いて入所者の方々も庭に出られ、桜や庭の花を眺めながら、久しぶりに春の暖かい日差しを堪能されました。

丹波篠山の桜は、周囲の自然と調和した景観で、阪神間では見ることができない素晴らしいものです。是非、皆さんも桜の時に丹波篠山の自然を堪能されてみてはいかがでしょうか？



こどもの日のコンサート「うたと日本舞踊の会」開催

ささやま医療センター玄関ホールコンサートについては、毎年3~4回程度開催しているところ、インフルエンザ流行等により開催を差し控えていましたが、こどもの日の特別企画として「うたと日本舞踊の会」を4月30日にボランティア支援グループ「ささゆり」が主催となり開催しました。

兵庫県認定音楽療法士及び絵本講師の両先生の指導のもと、患者さんや利用者さん、ささゆりの方々、教職員が一体となり「鯉のぼり」他数曲を合唱しました。

引き続き、華やかな着物を纏った中学生による日本舞踊が披露され、感動的な見事な舞いに会場から大きな拍手が起こりました。

患者さんや利用者さんにとって有意義な療養生活を送っていただくため、今後もイベントを企画したいと考えています。



看護師宿舎新築工事計画について

医師や看護師の宿舎新築工事計画が進められています。新しい宿舎は3階建てで、看護師用の部屋24室、医師用の部屋4室の合計28室で、平成26年4月にオープン予定です。共用の多目的室なども備えられる予定で、ささやま医療センターで働く職員の福利厚生充実に向け計画を進めています。

病院機能評価受審に向けて



兵庫医科大学ささやま医療センター
病院長
福田 能啓

兵庫医科大学ささやま医療センターは、患者さん第一の医療を提供することを最重要課題とし、病院職員には「ささやまリネッサンス」を基本的な目標として意識改革を図ってまいりました。すなわち、次の目標を掲げました。

- ①Patient first: 患者さん第一の考えを常に持ちながら、患者さんの立場に立った医療を提供する。
 - ②Team医療: 患者さん第一の医療を達成するために各部署のスタッフが一緒になってチーム医療を実践する。
 - ③Professionalism: スキルアップを図りプロフェッショナルを目指す。
- の3項目です。〔「PTPの実践」〕

今がちょうどこれらの目標を達成できているかを検証する時だと考え、平成25年9月に新バージョンの病院機能評価(一般病院1<3rdG; Ver.1.0)を受審いたします。機能評価で問われる内容は大きく4領域に分けられています。第1領域は、患者中心の医療の推進であり、患者さんの意思を尊重した医療、地域への情報発信と連携、患者さんの安全確保に向けた取り組みなどが評価されます。第2、第3領域は、良質な医療の実践であり、診療・ケアにおける質と安全の確保、チーム医療による診療・ケアの実践など、良質な医療を構成する機能の充実が必要になっています。第4領域は、理念達成に向けた組織運営が問われ、病院組織の運営と管理者・幹部のリーダーシップ、人事・労務管理、教育・研修の充実などが評価されます。病院機能評価認定では「安心・安全・親切」な医療が実践できているか否かがサーベイヤーが、注目する点になっていると思います。当センターの基本的目標に掲げてまいりました「PTPの実践」がまさにこれに集約されていると考えています。

各部署では認定に向けて体制を整えているところですので、どうかご支援のほどよろしくお願いいたします。

篠山キャンパス環境整備

篠山キャンパスでは、自助努力の一環として、年2回教職員のボランティアによる環境整備(除草作業等)を実施していますが、平成25年度第1回目の環境整備を4月29日午前8時から実施しました。

当日は、国民の祝日にもかかわらず、教職員97名と天理教奉仕団約100名の方々が篠山キャンパス周辺の除草作業を行いました。前回の秋の開催時は、台風接近による雨天の中で行いましたが、今回は好天に恵まれ、初夏を思わせる汗ばむ陽気となりました。

旧篠山病院の解体工事により例年に比べ作業範囲は縮小されましたが、老人保健施設の庭園や敷地西側用水路・職員宿舎周辺には大量の雑草が生い茂っていたため、午前11時過ぎまで参加者全員が汗を流して作業を行い、キャンパスの美化に努めました。

